

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	飛騨にゆうかわイベント開催事業	内線	3131	特別 予算の 位置 付け	○ A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	積極的な観光振興策を実施します。 ・合併後の周辺自然环境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。
	B 一般予算の上乗せとして実施されている事業									
担当課	丹生川支所 基盤産業課			2	1	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	8,700 千円		
						6				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	観光入込客及び市民	どうしたい のか (意図)	・貴重な自然観光資源と豊富な農産物を活かし四季を通じたイベントを開催し、交流人口の増大と地域産業の活性化を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・乗鞍岳山開き祭 ・飛騨にゆうかわコスモスまつり ・飛騨にゆうかわ宿籠まつり ・NORIKURAウィンターカーニバル の各事業実施団体への負担金
	対象者数	17,637 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・乗鞍岳山開き祭	5月15日					
	・飛騨にゆうかわコスモスまつり	9月3・4日(荒天により中止、一部バザーのみ自主的実施)					
	・飛騨にゆうかわ宿籠まつり	11月3日					
	・NORIKURAウィンターカーニバル	2月4・5日	以上の実行委員会負担金を支出				
活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	開催イベント数	回	目標値 実績値	4 4	4 4	4 4	4 4
成果 指標	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
	丹生川地域への入込客数	千人	目標値 実績値	600 558	600 534	600 600	600 600
成果 指標	算出根拠等		達成率(%)	93	89		
	イベント入込者数	人	目標値 実績値	20,000 16,280	20,000 17,637	20,000 20,000	20,000 20,000
補足	算出根拠等		達成率(%)	81	88		
			目標値 実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・イベント開催経費の自主財源確保。 ・将来のイベントのあり方の方向性検討。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・自主財源の確保とともに、各イベントの将来方針について検討を進め、自主運営化または一般予算化を進める。	
次年度の実 施方針	維持・改善 拡大 ○ 縮小 廃止検討	・自主財源の確保とともに、各イベントの将来方針について検討を進め、自主運営化または一般予算化を進める。
	二次評価 維持・改善 拡大 ○ 縮小 廃止検討	・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、負担金と行政の関与を段階的に縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、各イベントのあり方について検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	10,686	10,688	9,800	8,700
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	656	606	490	435
	受益者	イベント入込者	(B)	16,280	17,637	20,000

5 予算編成(Action2)

事業内容	地域産業の活性化と交流人口の増大を目的とした、乗鞍岳山開き祭、コスモスまつり、宿籠まつり、ウィンターカーニバルの開催に伴う、実行委員会負担金。	要求の ポイント	平成26年度の地域振興特別予算枠の終期を見据え、市負担金の段階的な減額と自己財源率の向上を図る計画。	事業実施 の課題	観光 課	地域振興特別予算が平成26年度までの時限的的制度であることから、今後、段階的に自己負担割合を増やしていき、地域で自主的に運営できるよう見直し、実施に努めること。
					地域 政策 課	合併前から実施している行事・イベントについては、今後の方向性について各事業の内容や地元負担割合等の精査を行うとともに、継続について、地域と十分協議する必要がある。 来場者とその属性、交通・景観・環境・衛生面など様々な視点から事業の効果、改善点を検証する必要がある。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		9,800	8,700	△ 1,100	8,700	8,700	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	9,800	8,700	△ 1,100	8,700	8,700		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	95199	スキー大会開催事業	予算	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	○ A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1 積極的な観光振興策を実施します
種別				款	9 教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	丹生川支所 地域振興課			項	5 保健体育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業				
内線	3121			目	1 体育総務費		D	その他事業				
							H25計画額	450 千円				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民・一般観光客	どうしたいのか (意図)	スキー場を利用して、東海社会人スキー大会・乗鞍大回転競技大会・マスターズスキー大会を行い、飛騨地域への誘客を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	東海社会人スキー大会 300名、乗鞍大回転競技大会 250名、マスターズスキー大会 300名
	対象者数	950 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	東海社会人スキー大会、乗鞍大回転競技大会、マスターズスキー大会の開催						
活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	大会の開催回数	回	目標値 実績値	3 3	3 3	3 3	3 3
成果 指標	算出根拠等	目標値/実績値	達成率(%)	100	100		
	目標値 実績値						
成果 指標	算出根拠等	目標値/実績値	達成率(%)				
	目標値 実績値						
成果 指標	東海社会人スキー大会参加者		目標値 実績値	300 265	300 256	300 250	300 250
	算出根拠等	目標値/実績値	達成率(%)	88	85		
成果 指標	乗鞍大回転競技大会参加者		目標値 実績値	250 221	250 233	250 250	250 250
	算出根拠等	目標値/実績値	達成率(%)	88	93		
成果 指標	マスターズスキー大会参加者		目標値 実績値	300 274	300 257	300 300	300 300
	算出根拠等	目標値/実績値	達成率(%)	91	86		
補足	目標値 実績値						
	算出根拠等	達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	スキー人口が減少している中で、競技者の拡充が必要である。大会の開催は参加者のスキー技術の向上のみではなく、冬期就労場の確保及び地域の商業の活性化につながっているため、事業の継続をする必要がある。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・各大会実行委員会と今後の大会開催の在り方について検討を行う。
担当課 評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
二次 評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
次年度の実 施方針	・大会の開催は参加者のスキー技術の向上のみではなく、地域の商業の活性化につながっている。よって、行政からの支援は今後必要である。 ・特例期間終了を見据え、行政の関与を段階的に縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、スポーツ大会誘致のあり方について検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	450	450	450
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	592	603	529
	受益者 大会参加者	(B)	760	746	850

5 予算編成(Action2)

事業 内容	東海社会人スキー大会、乗鞍大回転競技大会、マスターズスキー大会の開催負担金	要 求 の ポ イ ン ト	スキー技術の向上と飛騨地域への誘客を図るためのスキー大会の開催	事業 実 施 の 課 題	スキー人口が減少している中で、競技者の拡充が必要である。大会の開催は参加者のスキー技術の向上のみではなく、冬期就労人口の確保及び地域の商業の活性化につながっているため、事業の継続をする必要がある。	ス ポ ー ツ 振 興 課	地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。 現在、一般予算の中で地域におけるスポーツ教室の開催方法やスポーツイベントのあり方等について検討しているところであり、当面、当該事業を継続する中で、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。
						地 域 政 策 課	同上

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	450	450	0	450	450	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	450	450	0	450	450		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	31199	地域社会福祉推進事業費 (結婚相談特別推進事業)	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	4 個人、家庭、地域を大切にする社会を築きます。	
	課			款	3	民生費		○	B					一般予算の上乗せとして実施されている事業
担当課	丹生川支所 地域振興課			項	1	社会福祉費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業					
	内線			目	1	社会福祉総務費		D	その他事業					
	3121			H25計画額		210		千円						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	地域住民	どうしたいのか (意図)	結婚相談事業は、旧丹生川村の総合計画においても重要課題として、ハッピーウェディング大作戦を展開してきた。引き続きこの事業を推進することにより、次世代を担う若者の結婚の機会を拡充し、活力ある地域づくりを目的とする。地域審議会においても強い要望がある。	概要	事業の実施 手法(手段)	結婚相談協力員5名を配置。結婚相談所開設日に情報交換を行うとともに、日々の相談(面談、電話、訪問)活動。相談を受けた場合、相談者に対する今後の支援等について、相談員と協力員で検討を行う。
	対象者数	4,629	人				

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	毎月1回相談所の開設。結婚相談等延べ活動回数83回。結婚成立1件。						
活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	結婚相談日の開設	回	目標値	12	12	12	12
	実績値		12	12			
	算出根拠等	目標値/実績値	達成率(%)	100	100		
成果 指標	結婚相談等延べ件数	回	目標値	100	100	100	100
	実績値		96	83			
	算出根拠等	目標値/実績値	達成率(%)	96	83		
成果 指標	結婚成立件数	件	目標値	2	2	2	2
	実績値		3	1			
	算出根拠等	目標値/実績値	達成率(%)	150	50		
補足			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街発行の機関紙や町内会長会議において相談所開設のPRを行っているが、今後も開設のPRを積極的に行い、利用しやすい。 ・各相談所との連携を密にして情報提供を行う。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会長会議毎に周知を行う。 ・商店街の機関紙でのPRの継続。 ・特例期間終了を見据え今後の在り方を検討する。 														
次年度の実 施方針	<table border="1"> <tr> <td>維持・改善</td> <td rowspan="2">現行通り実施する。尚、相談件数がふえるように相談員制度の周知を今以上に実施する。</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>○ 縮小</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持・改善</td> <td rowspan="2">相談業務のあり方については、福祉課で実施しているものとの整合を図るよう調整を行っていく必要がある。</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>○ 縮小</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	維持・改善	現行通り実施する。尚、相談件数がふえるように相談員制度の周知を今以上に実施する。	拡大	○ 縮小		廃止検討		維持・改善	相談業務のあり方については、福祉課で実施しているものとの整合を図るよう調整を行っていく必要がある。	拡大	○ 縮小		廃止検討	
維持・改善	現行通り実施する。尚、相談件数がふえるように相談員制度の周知を今以上に実施する。														
拡大															
○ 縮小															
廃止検討															
維持・改善	相談業務のあり方については、福祉課で実施しているものとの整合を図るよう調整を行っていく必要がある。														
拡大															
○ 縮小															
廃止検討															

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	210	210	210
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,188	2,530	2,100
	受益者 相談件数	(B)	96	83	100

5 予算編成(Action2)

事業内容	結婚相談協力員5名を配置。毎月第3水曜日の結婚相談所開設日に情報交換を行うとともに、日々の相談(面談、電話、訪問)活動	要求の ポイント	事業実施 の課題	相談制度の周知を今以上に実施するとともに、相談所の開催日時、開催会場等の検討をし、相談に来やすい相談所を開設する。	福祉課 地域政策課	本事業は丹生川支所のみの実施であり、福祉課事業の上乗せとなっている。上乗せで実施することによる事業効果、成果を確認し、地域振興特別予算終了を見据えて、あり方の検討が必要である。
------	---	-------------	-------------	---	--------------	--

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	210	210	0	210	210	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	210	210	0	210	210		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	31399	地域老人福祉推進事業費 (老人クラブ活動助成事業)	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	5 医療・福祉を充実させます 地域住民が互いに支えあう仕組みや、緊急時の支援を万全にするため、 独居老人、要援護者等への地域福祉体制を整備します。
	款			3	民生費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
	項			1	社会福祉費	C		終期を定めて実施する事業・単年度事業					
	目			3	老人福祉費	D		その他事業					
担当課	丹生川支所 地域振興課		内線	3121					H25計画額	420	千円		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	60歳以上の市民で構成される単位老人クラブ及び連合組織	どうしたいのか (意図)	地域を基盤とした老後の社会活動の円滑な展開とまちづくりへの高齢者の参画の促進	概要	事業の実施 手法(手段)	高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブに対し、高齢者の生きがいと健康づくり、福祉の向上のために助成することにより、各種活動の育成、支援を行う。
	対象者数	10,000 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	市連合長寿会に対して、事務局人件費を助成							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	連合長寿会会員数	人	目標値	10,500	10,500	10,000	10,000
				実績値	10,405	9,796		
				算出根拠等	達成率(%)	99	93	
	活動指標	連合長寿会単位老人クラブ数	クラブ	目標値	150	150	143	139
				実績値	150	143		
				算出根拠等	達成率(%)	100	95	
	活動指標	連合長寿会加入率	%	目標値	42	43	40	40
				実績値	42	39		
				算出根拠等	連合長寿会加入者数/65歳以上人口	達成率(%)	99	91
	補足				目標値			
					実績値			
		算出根拠等			達成率(%)			

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・新規加入者が少なく、連合長寿会会員の減・単位クラブの減が課題となっている。健康で生きがいを持って生活するために、地域とのつながりを深めながら、連合長寿会への加入メリットを生かした活発な活動に向けた取り組みが必要である。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・本補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら事業継続し、組織の育成と活動の支援を行う。	
次年度の実 施方針	○ 維持・改善	・老人クラブ活動費補助金(31336事業)との一本化を図る。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	・市域全体としては、会員数・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、老人クラブ活動費補助金との一本化については、今後の支援のあり方も含めて検討する必要がある。	
拡大		
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	420	420	420	420
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	497	501	519	519
	受益者	丹生川区会員(4月1日現在)	(B)	845	839	809

5 予算編成(Action2)

事業内容	・高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブの各種活動の育成、支援を行うため、その事務局人件費の助成を行う。	要求の ポイント	・各区老人クラブ事務局人件費	事業 実施の 課題	・地域を基盤とした老人クラブ活動の展開と、まちづくりへの高齢者の参画を支援し、より一層の活発な取り組みにするため、一般会計(31336事業老人クラブ活動費補助金)予算へ移行する必要がある。	高 年 介 護 課	・地域を基盤とした老人クラブ活動の展開と、まちづくりへの高齢者の参画を支援し、より一層の活発な取り組みにするため、一般会計(31336事業老人クラブ活動費補助金)へ移行する必要がある。
						地 域 政 策 課	・支所地域の老人クラブへの補助は人件費を補助対象としているため、早急に高山地域と同条件となるよう調整し、一般予算化の検討が必要である。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		420	420	0	420	420	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金	280	280	0	280	280		
	その他			0				
	一般財源	140	140	0	140	140		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	72199	市道未登記用地測量事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	4 個人・家庭・地域を大切に する社会を築きます。 日常生活における買い物、 通勤、通学、通院などの 移動手段を確保するため、 市民の生活を守る公共 交通網を整備します。
	款			7	土木費	○		B	一般予算の上乗せとして 実施されている事業				
担当課	丹生川支所 基盤産業課	内線 3141	項	2	道路橋りょう費	目	1	道路橋りょう総務費	H25計画額	10,000	千円		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市道未登記地権者	どうしたい のか (意図)	未登記路線の整理(未登記のまま道路整備した路線の登記整備)	概要	事業の実施 手法(手段)	市道未登記箇所の確定測量を行い登記関係書類を作成し、所有者からの寄付により道路用地として高山市へ所有権移転登記を行う。
	対象者数	127 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	市道日面線・旗鈴乗鞍線の分筆作業。朴の木線の現場立会(事前打合せ、関係資料調査)							
活動 指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	取組路線数			目標値	13	13	13	13
成果 指標	算出根拠等			実績値	6	7		
	算出根拠等			達成率(%)	46	54		
成果 指標	用地分筆数			目標値	509	509	509	509
	算出根拠等			実績値	97	147		
成果 指標	算出根拠等			達成率(%)	19	29		
	算出根拠等			目標値				
成果 指標	算出根拠等			実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
成果 指標	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績値				
成果 指標	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
成果 指標	算出根拠等			実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
補足	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績値				
補足	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
補足	算出根拠等			実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	全体としては道路管理者として市が進めていく事業として有効であるが、対象路線に関係する地権者のみ受益する感があり、市民ニーズからすると効果が薄い。費用対効果では表れにくいため、市民への理解、重要性の周知広報が必要
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	地元町内会や精通者などとも協議しながら、円滑に事業を推進する	
次年度 の実施 方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	事業未実施、実施経過中の路線も多く、今後も継続して行く必要がある。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・平成26年度までに重要路線の未登記処理を完了できるよう積極的に取り組んでいく必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	9,963	9,880	15,000	15,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	78,449	77,795	118,110	118,110
	受益者	地権者	(B)	127	127	127

5 予算編成(Action2)

事業 内容	市道未登記用地の調査、測量、登記	要求の ポイント	事業 実施の 課題	維持課	世代交代が進んでいくため、早めに地権者の承諾を得て、未登記路線の解消を進めること。
				地域 政策 課	積極的に事業を推進すること

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		15,000	15,000	0	15,000	15,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	15,000	15,000	0	15,000	15,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	74799	花街道整備事業	内線	3141	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	4 個人・家庭・地域を大切に する社会を築きます。 ・日常生活における買い物、 通勤、通学、通院などの 移動手段を確保するため、 市民の生活を守る公共 交通網を整備します。
	○					B 一般予算の上乗せとして 実施されている事業					
担当課	丹生川支所 基盤産業課	会計	1	一般会計	項目	C	終期を定めて実施する 事業・単年度事業	H25計画額	1,500	千円	
			7	土木費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	丹生川地域住民	どうしたいのか(意図)	県外来客者及び市民が通行する市道・大規模林道等路側の環境整備(雑草・支障木除去)により四季折々の美しい自然・快適環境を楽しんでもらう。	概要	事業の実施手法(手段)	各自治会・個人事業主への委託
	対象者数	4,629 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	各沿線路側等の雑草支障木除去 ①大規模林道等他林道 L=20km ②市道L=16km							
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	市道林道等	目標値	km		35	35	35	35
		実績値		40	36			
	算出根拠等	L×W		達成率(%)	115	104		
		目標値						
		実績値						
	算出根拠等			達成率(%)				
		目標値						
		実績値						
	算出根拠等			達成率(%)				
		目標値						
		実績値						
算出根拠等			達成率(%)					
	目標値							
	実績値							
算出根拠等			達成率(%)					
補足	各自治会での取組は年行事となっており共同作業することで活力ある町づくりの一役を担っている。							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	市民生活道路の安全確保及び景観保全維持の観点から今後も継続する必要がある。
-----------------	---------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・住宅が多い地域では、町内会が主導できないか働きかけを行う。	
次年度の 実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	地域の安全確保、景観保全維持のため今後も事業継続する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,249	1,405	1,500	1,500
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	267	303	324	324
	受益者	市民及び観光等来客者	(B)	4,670	4,643	4,629

5 予算編成(Action2)

事業内容	・道路路側等の雑草・支障木除去	要求のポイント	・道路等の快適環境を維持する。	事業実施の課題	支所	都市整備課	・道路利用者の安全性を確保するため、適正な事業実施時期の設定が必要である。
						地域政策課	・樹木等の植栽、草刈等地域振興特別予算で措置されている類似事業については、景観保全、安全確保等の観点から全体的な検討、調整が必要である。

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,500	1,500	0	1,500	1,500	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	1,500	1,500	0	1,500	1,500		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94199	花のふるさとづくり事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	8 ・豊かな自然環境を守り、環境モデル都市を作ります。 ・環境保全に取り組みます。	
種別				款	9	教育費		○	B					一般予算の上乗せとして実施されている事業
担当課	丹生川支所 地域振興課			項	4	社会教育費			C					終期を定めて実施する事業・単年度事業
内線	3121			目	1	社会教育総務費			D					その他事業
										H25計画額	3,500 千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	各種団体・市民	どうしたいのか(意図)	国道、県道、市道沿いを中心として花飾りを実施し、このことを通じて地域の連携意識の高揚を図ると共に、町内の環境美化の推進及び高山市へ訪れる多くの観光客の目を楽しませ地域全体のイメージアップを図る。	概要	事業の実施手法(手段)	コスモス街道のコスモスの育苗、植栽、栽培管理について高山市連合長寿会丹生川地区長寿会に委託。花いっぱい運動については各種団体及び個人の活動で行っている。
	対象者数	80 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・コスモス街道(キバナコスモス)植栽距離 12Km。 ・花いっぱい運動参加団体67団体。 ・審査会参加団体・個人数78						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	コスモス街道植栽距離	Km	目標値 実績値	12 12	12 12	12 12	12 12
成果指標	算出根拠等	目標値/実績値	達成率(%)	100	100		
	算出根拠等	目標値/実績値	達成率(%)				
成果指標	花いっぱい運動参加団体(苗配布団体)	団体	目標値 実績値	70 68	70 67	70 67	70 67
	算出根拠等	目標値/実績値	達成率(%)	97	96		
成果指標	審査会参加団体(個人含む)数	団体	目標値 実績値	80 80	80 78	80 78	80 78
	算出根拠等	目標値/実績値	達成率(%)	100	98		
補足	算出根拠等	目標値/実績値	達成率(%)				
	算出根拠等	目標値/実績値	達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	高山市の東の玄関口として高山市のイメージアップを図るため継続していく必要があるが、特例期間終了を見据え、一般会計への移行を検討する必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・「花いっぱい運動」に対しては、当該地域振興予算のほか、一般会計による補助金(市民憲章推進事業補助金、特色ある地区活動事業補助金)が直接・間接に助成されており、地域振興特別予算の終期も踏まえた助成の在り方を検討するとともに、事業費規模などについても検討する。
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 ○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
次年度の評価	高山市の東の玄関口として、多くの観光客が往来する丹生川地域の環境美化のみではなく、高山市のイメージアップにつながる事業であり、今後も継続して実施していく。
二次評価	・「花いっぱい運動」については、一般予算による補助金(市民憲章推進事業補助金、特色ある地区活動事業補助金等)との整理が必要である。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、助成のあり方・事業費規模などについて検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 5,390	5,955	6,381	5,518
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 67,375	76,346	79,763	68,975
	受益者 審査会参加団体数	(B) 80	78	80	80

5 予算編成(Action2)

事業内容	・コスモス街道(キバナコスモス)植栽 ・花いっぱい運動の推進 ・審査会	要求のポイント	花壇整備による東の玄関口としてのイメージアップを図るための、国道158号線沿線のコスモス街道の整備	事業実施の課題	支所 コスモス街道の今後の在り方や基幹となる花壇の在り方について検討する必要がある。	市民活動推進課	地域社会教育事業は、花いっぱい運動に係る経費として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。予算措置の内容は、管理委託や花苗等の配付等、地域によって異なっている。 現在、市民憲章推進協議会が実施している花いっぱい運動に対する助成等類似事業との関係を整理しているところであり、当面、当該事業を継続するなかで、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。
						地域政策課	同上

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	6,300	5,518	△ 782	5,000	5,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	6,300	5,518	△ 782	5,000	5,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94699	地域芸術文化振興事業 (地域芸術文化活動助成事業)	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事 ○ B 一般予算の上乗せとして実施されている事業 C 終期を定めて実施する事業・単年度事業 D その他事業	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	9 伝統文化を守り、次代へ継承します。 ◎芸術文化の振興を積極的に支えます。
担当課	丹生川支所	地域振興課	款	9 教育費						
		内線	項	4 社会教育費						
		3121	目	6 文化振興費			H25計画額	300 千円		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民	どうしたいのか(意図)	地域に根づいた芸術文化の振興を図るため、丹生川地区社教が実施する文化活動の一環である「文化展」と芸術活動の一環である「芸術祭」の開催費用の一部を補助する。	概要	事業の実施手法(手段)	地域住民が主体となって事業が推進されるよう、丹生川地区社会教育運営委員会への事業補助として実施。
	対象者数	950 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	文化展、芸術祭の開催各1回。						
活動指標	文化展の開催	回	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	算出根拠等	目標値/実績値	達成率(%)	100	100		
活動指標	芸術祭の開催	回	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	算出根拠等	目標値/実績値	達成率(%)	100	100		
成果指標	文化展参加人数	人	目標・実績	450	450	450	450
	算出根拠等	目標値/実績値	達成率(%)	105	86		
成果指標	芸術祭の参加人数	人	目標・実績	500	500	500	500
	算出根拠等	目標値/実績値	達成率(%)	110	120		
補足			目標値				
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・地域芸術文化の振興発展に大きく寄与しており今後も支援が必要であるが、一般予算への移行を検討する必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	他地域の社教活動の内容や自主財源に基づく活動内容を参考に助成のあり方について検討する。	
次年度の課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・地域芸術文化の振興発展に大きく寄与しており、活動の継続性に配慮しながら助成内容について検討する。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・他の事業との関係の整理、助成のあり方・事業費規模などについて検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 300	300	300	300
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 293	304	316	316
	受益者 参加者人数	(B) 1,024	987	950	950

5 予算編成(Action2)

事業内容	・文化展、芸術祭の開催に対する助成	要求のポイント	・丹生川地区社教が中心となって実施している事業である。地域住民が期待している伝統的な行事であり、地域の芸術文化の振興発展に大きく寄与している。	事業実施の課題	支所 ・文化展の参加者(出展者)の拡充 ・事業実施における自主財源等の確保	生涯学習課 ・地域文化振興事業は、地域の公民館等において開催される文化祭・芸術祭、文化講演会等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されているが、地域によって、内容・実施主体・助成割合等が異なるため、一定のルール化について検討する必要がある。 ・また、文化芸術鑑賞事業等一般予算で行っている文化振興事業と地域文化振興事業との関係についても整理する必要がある。	地域政策課 ・同上
------	-------------------	---------	---	---------	---	---	--------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	300	300	0	300	300	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	300	300	0	300	300		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94699	地域芸能文化振興事業 (丹生川文化ホール自主事業)	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	9 伝統文化を守り、次代へ継承します。 芸術文化の振興を積極的に支えます。
種別			款	9 教育費	○ B 一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	丹生川支所 地域振興課	内線	項	4 社会教育費	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業					
		3121	目	6 文化振興費	D その他事業					
							H25計画額	2,000 千円		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 市民	どうしたいのか(意図)	著名な芸能人のコンサートや演劇等の公演の機会に触れ、地域住民の芸能文化の振興を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	地域住民が主体となって事業が推進されるよう、丹生川地区社会教育運営委員会への事業補助として実施。
	対象者数	1,000 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・いっこく堂トークショー H23年10月25日(火) 600人 ・沖縄・琉球音楽コンサート H23年12月11日(日) 542人							
成果面	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25	
	活動指標	自主事業開催回数	回	目標値	2	2	2	2
				実績値	2	2		
	成果指標	入場者数(延べ人数)	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000
				実績値	1,038	1,142		
	算出根拠等			達成率(%)	100	100		
	算出根拠等			達成率(%)	104	114		
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			達成率(%)				
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・市内に類似施設が数か所あるため催しもの内容や開催日を検討し、市全体のバランスを考慮して実施することが必要。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・開催日等の調整、催し物の調整を行い、市全体のバランスを考慮して実施する。	
次年度の実施方針	維持・改善	・地域住民が身近な施設で演劇等の公演の機会を得るための重要な事業であり、継続するが、特例期間終了を見据えた縮小の検討を行う。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・文化芸術鑑賞事業との関係の整理、実績や効果の検証を行う必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	維持・改善	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・文化芸術鑑賞事業との関係の整理、実績や効果の検証を行う必要がある。
	縮小	
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 2,500	2,500	2,000	2,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 2,408	2,189	2,000	2,000
	受益者 入場者	(B) 1,038	1,142	1,000	1,000

5 予算編成(Action2)

事業内容	・地域住民が主体となって事業が推進されるよう、丹生川地区社会教育運営委員会に対し助成する。	要求のポイント	・地域住民が身近な施設で演劇等の公演の機会を得る貴重な事業であり、丹生川地区社会教育運営委員会が実施している。	事業実施の課題	支所 ・事業収入だけでは自主事業の開催が難しく、市民の希望する質の高い公演等を開催するため、事業費を補助する	生涯学習課 ・地域文化振興事業は、地域の公民館等において開催される文化祭・芸能祭、文化講演会等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されているが、地域によって、内容・実施主体・助成割合等が異なっているため、一定のルール化について検討する必要がある。 ・また、文化芸術鑑賞事業等一般予算で行っている文化振興事業と地域文化振興事業との関係についても整理する必要がある。	地域政策課 ・同上
------	---	---------	---	---------	---	--	--------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	2,000	2,000	0	2,000	2,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	2,000	2,000	0	2,000	2,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94799	文化財標柱等設置事業	内線	3121	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	9 伝統文化を守り、次代へ継承します。
	○					B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	丹生川支所 地域振興課			7	目	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	900 千円		
	9	款	9			教育費					
						4	社会教育費				
						1	一般会計				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	文化財標柱の設置により、市民に対する文化財の周知を行い、文化財に対する理解と保護意識の高揚を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	丹生川町内に存在する文化財について、高山市の指定文化財標柱を整備し、文化財の周知及び文化財保護の啓発を行う。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	文化財石柱設置4基。							
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	成果指標	標柱設置件数	基	目標値	4	6	6	6
		実績値		実績値	4	6		
		算出根拠等		達成率(%)	100	100		
成果 面				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	設置を希望しない所有者がある。
---------------------	-----------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	設置を希望しない所有者の承諾を得られるように交渉していく。
次年度の 実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 <input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 (担当課評価に同じ)

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 627	734	900	900
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 7	8	10	10
	受益者 全市民	(B) 93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事業 内容	指定文化財標柱の設置 6基。	要求の ポイント	古い標柱は木製であり腐食が進んでいるため、石柱等に更新し、文化財の周知及び文化財保護の啓発を行う。	事業 実施 の 課題	事業完了までに更新する物としない物の整理を行う。	文化 財 課	・文化財標柱・説明看板の設置は文化財保存や啓発の観点から必要であり、設置計画に基づき計画的に設置を進める必要がある。
						地域 政 策 課	計画的に実施し、地域振興特別予算措置期間に完了することが必要である。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		900	900	0	900	900	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	900	900	0	900	900		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	95199	体育大会開催助成事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	4	・個人、家庭、地域を大切に社会を築きます。
	款			9	教育費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
	項			5	保健体育費	C		終期を定めて実施する事業・単年度事業						
	目			1	体育総務費	D		その他事業						
担当課	丹生川支所 地域振興課		内線	3121			H25計画額	900 千円						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民	どうしたいのか(意図)	誰もが参加できるスポーツ大会を町内で開催することにより、限られた人達だけでなく、普段スポーツ活動をしていない人の参加を促進し、地域のスポーツ振興を図る。スポーツ大会に向けた日々の練習により、健全なからだづくりにつながる。また、絆もより一層深めることができる。	概要	事業の実施手法(手段)	丹生川町内で地区対抗等の体育大会を開催する。春季大会(屋外球技)、夏季大会(屋外競技)秋季大会(軽スポーツ)、冬季大会(屋内競技・屋外競技) 全13種目
	対象者数	1,500 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	13種目のスポーツ大会の開催。						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	体育大会の開催	種目	目標値	13	13	13	13
	実績値		13	13			
	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
成果指標	大会延べ参加者数	人	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500
	実績値		1,276	1,303			
	算出根拠等		達成率(%)	85	87		
	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・地域住民のスポーツ振興を拡大していくために、自主財源(受益者負担)での開催を検討する必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・自主財源(受益者負担)での開催を検討する。
次年度の課評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
次年度の課評価	・現行通り実施するが、大会役員等の出役等、関係団体との調整を図りながら、自主財源による開催手法を検討を図る。
二次評価	・地域の自主的な活動とすべく、負担金の段階的な引き下げを行う必要がある。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 900	900	900	900
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 705	691	600	600
	受益者 大会延べ参加者数	(B) 1,276	1,303	1,500	1,500

5 予算編成(Action2)

事業内容	丹生川町内で開催される地区対抗等の体育大会の開催経費の助成	要求のポイント	事業実施の課題	支所	自主財源(受益者負担)での開催の方向性を検討する。	スポーツ振興課	地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。 現在、一般予算の中で地域におけるスポーツ教室の開催方法やスポーツイベントのあり方等について検討しているところであり、当面、当該事業を継続する中で、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。
						地域政策課	同上

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	900	900	0	900	900	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	900	900	0	900	900		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	乗鞍サイクルヒルクライム開催事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	1	積極的な観光振興策を実施します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。
	課			6	商工費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業						
担当課	丹生川支所 基盤産業課	内線	3131	項	2	観光費	O	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	1,200	千円		
				目	1	観光振興費		D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	ヒルクライムレース参加者	どうしたいのか (意図)	・乗鞍スカイライン等を活用し、山岳自転車ロードレースを開催。乗鞍岳の観光振興策として、誘客拡大を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・乗鞍サイクルヒルクライム開催に伴う実行委員会負担金
	対象者数	565 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・乗鞍サイクルヒルクライムを開催し、565人がエントリーし、538人が出走、完走者は529人。 ・実行委員会負担金を支出。							
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指標	ヒルクライム開催回数	回	目標値	1	1	1	1
				実績値	1	1		
	算出根拠等			達成率(%)	100	100		
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
	成果 指標	ヒルクライムレース エントリー者数	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000
				実績値	478	565		
算出根拠等			達成率(%)	48	57			
			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
補 足			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・エントリー者数を目標値の1,000人に早期に近づける。
---------------------	------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・エントリー者数を目標値の1,000人に早期に近づける。	
次 年度 の 実 施 方 針	○維持・改善 拡大	・当該事業は、丹生川支所と上宝支所の連携事業として、事業費も折半している。H24にはエントリー者数が1,000人近くなり、さらに参加者数増大に向け、近い将来は地元観光関係者や新聞社が中心となった自主運営への移行を促す。 ・エントリー者数の増加に伴い、参加者の駐車場のキャパシティや安全運営などの課題も明らかとなっている。将来的なスタート地点や競技コースなどの見直し検討についても、関係機関との協議調整が必要。
	○維持・改善 縮小	
	○維持・改善 廃止検討	
	○維持・改善 拡大	
二次 評価	縮小	・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、負担金と行政の関与を段階的に縮小する必要がある。 ・イベント実施による効果を多角的な視点から分析し、今後のあり方について検討する必要がある。
二次 評価	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	1,200	1,200	1,200
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,510	2,124	1,215
	受益者 エントリー者数	(B)	478	565	988

5 予算編成(Action2)

事業 内容	乗鞍岳の観光振興策の一つとして、乗鞍スカイラインなどを活用した山岳自転車ロードレースを開催	要求の ポイント	当該事業は、乗鞍岳の観光振興策を目的とした丹生川支所と上宝支所の連携事業として事業費も折半としている。	事業 実施 の 課題	観光課	実行委員会の自主的運営に向けて、参加者の増加対策を検討すること。
	乗鞍スカイラインサイクルヒルクライム 期日 7月6日(土)受付、7日(日)競技 場所 乗鞍スカイラインほか 内容 山岳自転車ロードレース 規模 約1,000人				地域 政策 課	主催する民間の関連団体と、行政の役割分担を明確にする必要がある。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,200	1,200	0	1,200	1,200	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,200	1,200	0	1,200	1,200		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62299	朴の木平駐車場整備事業	予算	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市 長 公 約	1 積極的な観光振興策を実施します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を 新たな観光資源として積極的に活用します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指しま す。
	課			款	6 商工費		B 一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	丹生川支所 基盤産業課		内線 3131	項	2 観光費	O	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	千円		
	目	2 観光施設費		D その他事業							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	観光入込客及び市民	どうしたい のか (意図)	・市有施設である朴の木平バスターミナルは、乗鞍岳への登山バス乗換場所として重要な機能を果たしており、乗鞍岳の自然環境保全や登山者の利便性を確保するため、駐車場の整備を行う。	概要	事業の実施 手法(手段)	舗装工(オーバーレイ) A=8,200㎡ 区画線工(溶融式) L=3,600m
	対象者数	32,138 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				算出根拠等	目標値		
			実績値				
			達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	
次年度の実 施方針	維持・改善
	拡大
二次評価	縮小
	廃止検討

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
歳出(千円)	(A)				20,370
受益者1件当たり(円)	(A/B)				634
受益者	(B)				32,138

5 予算編成(Action2)

事業内容 ・舗装工(オーバーレイ) ・区画線工(溶融式)	要求の ポイント	事業 実施の 課題	観光課	駐車場の劣化が進んでおり、早期の修繕が必要である。
			地域 政策 課	地域振興特別予算措置期間終了後は、基準内の借地料となるよう交渉が必要である。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		0	20,370	20,370	20,000	20,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他		8,148	8,148	8,000	8,000		
	一般財源	0	12,222	12,222	12,000	12,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62499	乗鞍岳・乗鞍山麓五色ヶ原の森 活性化対策事業	予算	会計 1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	積極的な観光振興策を実施します。 1 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を 新たな観光資源として積極的に活用します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指し ます。
	課 6			商工費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	丹生川支所 基盤産業課	内線 3131	項 2	観光費	O	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	1,000	千円		
			目 3	自然公園費		D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	不特定多数の都市住民及び旅行者、マスコミ関係者	どうしたいのか (意図)	・地域が誇る貴重な自然資源である 乗鞍岳・乗鞍山麓五色ヶ原の森などを、旅行者やマスコミ、都市住民にPRし、誘客促進による地域振興を図る。また、乗鞍岳活性化対策として誘客拡大につながる振興策の実証により効果的な誘客策を検討する。	概要	事業の実施 手法(手段)	・都市圏における観光誘客キャンペーンの参加開催 ・乗鞍岳誘客拡大実証試験の実施に伴う協議会負担金
	対象者数	189,356 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・広告宣伝事業	①誘客キャンペーン 4回(松本市、関西圏、首都圏、中京圏) ②五色ヶ原の森入山宿泊パック 1,138名 ③PRポスター等制作 各種 ④広告宣伝 各種	・誘客拡大実証試験事業	①自然観察教室 7回 ②星空観察会 3回	以上の協議会負担金を支出			
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25	
活動指標	都市圏における観光誘客キャンペーン等参加	回	目標値	4	4	0	0	
	算出根拠等		実績値	4	4			
活動指標	乗鞍岳誘客拡大実証試験の実施	回	目標値	12	12	10	10	
	算出根拠等		実績値	11	10			
活動指標	五色ヶ原の森入山宿泊パック	人	目標値	500	300	0	0	
	算出根拠等		実績値	852	1,138			
成果指標	観光入込客数(乗鞍岳・五色ヶ原の森)	人	目標値	205,000	205,000	205,000	205,000	
	算出根拠等		実績値	210,497	189,356			
補足			達成率(%)	103	92			
	算出根拠等		達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・誘客実証試験事業については、天候等の影響で開催不可となった事業もあったため、達成状況は低下した。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・今年度からは、当初計画に基づき誘客拡大実証試験事業についてのみ継続的に実施し、効果的な誘客策を見出す。	
次年度の実 施方針	○維持・改善 拡大	・誘客拡大実証試験等を、将来的に民間レベルで自主的な本格実施が可能となるよう、検討調整が必要。
	○維持・改善 縮小 廃止検討	
二次評価	○維持・改善 縮小 廃止検討	・誘客事業については市域全体又は広域で取り組みむ必要がある。 ・観光誘客キャンペーンについては観光関係団体等と連携するなど、効果的な取り組みを進める必要がある。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	3,000	2,500	1,000	1,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	14	13	5	5
受益者	観光入込客数	(B)	210,497	189,356	205,000	205,000

5 予算編成(Action2)

事業内容	観光関係団体との連携による乗鞍岳等誘客拡大に向けた実証試験の実施	要求の ポイント	・乗鞍岳自然観察教室 ・乗鞍星空観察会 ほか	事業実施 の課題	支所 将来は、誘客拡大実証試験事業等を民間レベルで自主的に本格実施 できるよう、検討調整が必要。	環境 政策 推進 課	事業の成果を検証し、乗鞍周辺を活用した地域づくりに結び付ける取り組み とすることが必要である。
						地域 政策 課	同上

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,000	1,000	0	1,000	1,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,000	1,000	0	1,000	1,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	72399	市道改良事業	内線	3141	予算	会計 1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	6 市民の生活と生命・財産を守ります。 ・支所地域と市街地を結ぶ主要道路の整備や都市計画道路の整備をすす めます。
	課 7					B 一般予算の上乗せとして実施されている事業						
	項 2					C 終期を定めて実施する事業・単年度事業						
	目 3					D その他事業						
担当課	丹生川支所 基盤産業課							H25計画額	10,000 千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	丹生川町地域住民	どうしたい のか (意図)	旗鈴乗鞍線は五色ヶ原の森への運行する路線であり、舗装整備することで通行の安全を図ることができる。折敷地15号線は丹生川ダムを経て木地屋溪谷につながる路線で、今後の観光、林業振興に寄与することが期待される。坊方大谷線は、坊方地区の生活道路であり、道路拡幅することにより、生活至便に寄与するものである。千光寺山門線は、千光寺参道につながる路線で、道路整備により観光及び地域振興に貢献大となる。	概要	事業の実施 手法(手段)	コスト削減を図る工事
	対象者数	4,629 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		旗鈴乗鞍線舗装L=450m・折敷地15号線(改良)L=1,766m(県負担金)						
成果 指 標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	舗装新設	算出根拠等 W×L	㎡	目標値	1,300	1,350	2,000	0
				実績値	1,356	1,379		
	達成率(%)				104	102		
	折敷地15号線他	算出根拠等 道路改良	m	目標値		1,766	0	0
				実績値		1,766		
	達成率(%)				100			
	坊方大谷線	算出根拠等 道路改良延長	m	目標値			23	70
				実績値				
	達成率(%)							
	千光寺山門線	算出根拠等 道路改良延長	m	目標値				100
				実績値				
達成率(%)								
算出根拠等				目標値				
算出根拠等				実績値				
達成率(%)								
算出根拠等				目標値				
算出根拠等				実績値				
達成率(%)								
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	道路の安全確保の観点から今後も継続する必要がある。
---------------------	---------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	効率的に事業効果が上がるよう施工方法を吟味する。	
次年度 の実 施 方 針	○維持・改善	住民の生活道路、観光施設へのアクセス確保のため、今後も改良していく必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト 指 標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 4,576	14,585	15,000	12,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 980	3,141	3,240	2,592
	受益者 地域住民	(B) 4,670	4,643	4,629	4,629

5 予算編成(Action2)

事業 内 容	坊方大谷線道路拡幅 千光寺山門線舗装新設	要 求 の ポ イ ン ト	・地域住民の生活道路確保 ・観光振興、地域振興	事 業 実 施 の 課 題	支 所	建 設 課		地 域 政 策 課	
--------------	-------------------------	---------------------------------	----------------------------	---------------------------------	--------	-------------	--	-----------------------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		15,000	12,000	△ 3,000	12,000	12,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	15,000	12,000	△ 3,000	12,000	12,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20899	地域財産管理振興事業費	予算	会計	1	一般	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長 公約	
種別				款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	丹生川支所 地域振興課			内線	1	総務管理費		○	C			終期を定めて実施する事業・単年度事業
				3121	目	8		財産管理費	D			その他事業
								H25計画額	千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)		どうしたい のか (意図)	概要	事業の実施 手法(手段)
	対象者数	人			

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	指標名	単位	目標・実績		H22	H23	H24	H25
			目標値	実績値				
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績値					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績値					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績値					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	
次年度 の実施 方針	維持・改善
	拡大
	縮小
	廃止検討
二次 評価	維持・改善
	拡大
	縮小
廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
歳出(千円)	(A)				
受益者1件当たり(円)	(A/B)				
受益者	(B)				

5 予算編成(Action2)

事業 内容	使用しなくなった携帯電話中継局設備の撤去 ・銅管柱 21本 ・ケーブル 5,664m ・電源装置等一式	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支 所	地域 政策 課	地域 政策 課
----------	--	-------------	-----------------	--------	---------------	---------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)				0	2,500	2,500	・撤去工事に必要な事業費を計上	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源			0	2,500	2,500		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	91399	中学校部活動生徒送迎事業	会計	1	一般	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	7	将来を担う子どもを守り育てます。
	課			9	教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	丹生川支所 地域振興課	内線 3121	予算	1	教育総務費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	500	千円			
				目	3		スクールバス管理費				D	その他事業	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	丹生川中学校生徒	どうしたいのか (意図)	土曜日に部活動用の生徒送迎バスを運行することにより、遠距離の生徒も部活動に参加できるようにする。	概要	事業の実施 手法(手段)	土曜日に行う部活動用にスクールバスの運行を行う。東部地区、荒城地区の2台運行。
	対象者数	38 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	平成23年度実績 運行回数20回						
活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				目標値	25	20	30
	運行回数	回	実績値	25	20		
	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
成果 指標	1日の利用生徒数	人	目標値	28	38	35	32
				実績値	28	38	
	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・部活動に係るスクールバスの利用については、学校統合時の条件であり全市民的なあり方の検討が必要である。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・機能低下にならないよう公共交通の利用も含め検討する。	
次年度の 実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	スクールバスとのらマイカー等の公共交通の効率的な運行の検討結果に従い、学校側と協議を進める。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・スクールバスとのらマイカー等の公共交通の効率的な運行の検討や部活動の位置付けを整理するなかで、全市民的に対応を検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 482	496	410	413
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 689	653	390	430
	受益者 延べ利用生徒数	(B) 700	760	1,050	960

5 予算編成(Action2)

事業内容	土曜日実施の部活動生徒送迎用スクールバスの運行 (東部地区、荒城地区)	要求の ポイント	事業 実施の 課題	教育 総務 課	合併前から実施しているものであり、遠距離という地域性を考慮し次年度も実施する。 今後、公共交通事業との関連や部活動のあり方を精査のうえ、全市民的に検討することとする。	地域 政策 課	部活動に係るスクールバス利用については、全市民的なあり方の検討が必要である。
------	--	-------------	-----------------	---------------	--	---------------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		410	413	3	410	410	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	410	413	3	410	410		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	92299	南知多町交流推進事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	8 豊かな自然を守り、環境モデル都市を作ります。 ◎環境教育を推進します。
種別				款	9	教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	丹生川支所 地域振興課			内線	2	小学校費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業				
				3121	目	2		教育振興費	D				
								H25計画額	600	千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	丹生川小学校4年生	どうしたいのか (意図)	環境の異なる子供たちとの交流や地元の人達の生活を体験することにより、児童の視野を広め豊かな人間性を育む。	概要	事業の実施 手法(手段)	平成3年度より南知多町の小学校と交流を実施。 ①南知多町の小学校との交流 丹生川小学校4年生44名。 ②地域生活体験、地引網等の体験。
	対象者数	63 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	44名参加。						
活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	実施回数	回	目標値	1	1	1	1
	算出根拠等		実績値	1	1		
成果 指標	算出根拠等		目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
成果 指標	参加児童数	人	目標値	56	44	63	49
	算出根拠等		実績値	56	44		
	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
成果 指標			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	学校ごとに事業内容が異なるため、全市的な均衡を図り、参加者負担も含め一般会計への移行を検討する必要がある。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	参加者負担も含め今後の実施方法を検討する。	
次年度 の 実施 方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・平成27年度を機に廃止を検討する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	600	600	600
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	10,714	13,636	9,524
	受益者 参加児童数	(B)	56	44	63

5 予算編成(Action2)

事業内容	丹生川小学校4年生児童と南知多町の小学校との交流事業費に対する助成	要求の ポイント	事業 実施 の 課題	支 所	参加者負担も含め今後の実施方法を検討する必要がある。	学 校 教 育 課	特定地域の学校による他都市との交流事業に対する取組方針を定める必要がある。
						地 域 政 策 課	同上

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	600	600	0	600	600	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	600	600	0	600	600		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	21999	地域振興助成事業	内線	3112	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	合併のメリットを生かしつつ、それぞれの地域の特性をのばします。 ・地域の個性あるまちづくりと、市民の一体感を創るため、地域が手を取り 合って取り組む活動に支援します。
	B					一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	丹生川支所 地域振興課					C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	4,500	千円	
						D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	丹生川地域住民	どうしたい のか (意図)	・地域住民の連帯感を強化する ・自主的に動く人材を育成する ・地域の課題を解決する	概要	事業の実施 手法(手段)	・地域住民が自主的、主体的に取り組む公共性の高い地域づくり事業に対し補助金を交付する
	対象者数	4,629 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・町内会連合会、地域審議会において補助制度を周知し、制度の利用を促進 ・各団体、町内会等より申請があった事業に対し運営の指導等を行い、9件の事業に対し補助							
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	補助対象事業数	件	目標値	10	10	10	10	
		実績値	9	9				
	算出根拠等	達成率(%)	90	90				
		目標値						
	実績値							
		達成率(%)						
	算出根拠等	目標値						
		実績値						
	達成率(%)							
		目標値						
	実績値							
達成率(%)								
算出根拠等	目標値							
	実績値							
達成率(%)								
	目標値							
実績値								
	達成率(%)							
算出根拠等	目標値							
	実績値							
達成率(%)								
	目標値							
実績値								
	達成率(%)							
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・終期までは補助制度の周知を図り、わかりやすく手続き方法を説明し、利用の促進を図る必要がある。合わせて、平成27年度からの地域住民の主体的な活動につながるよう指導することが必要である。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・年度当初に開催した連合町内会長会において、具体的な申請書類作成手順の周知を図り、利用を促す。申請前の事前相談にも応じ、地域住民の活動として機能するような事業運営の指導を行う。	
次年度 の実施 方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査しながら27年度以降の対応について検討する必要がある。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	3,805	2,842	5,000	5,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	815	612	1,080	1,080
	受益者	地域住民	(B)	4,670	4,643	4,629

5 予算編成(Action2)

事業内容	・地域住民が自主的、主体的に取り組む公共性の高い地域づくり事業に対する助成	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支所	地域 政策 課	地域 政策 課
------	---------------------------------------	-------------	-----------------	----	---------------	---------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	5,000	5,000	0	5,000	5,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	5,000	5,000	0	5,000	5,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	21999	地域要望対応事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	合併のメリットを生かし、それぞれの地域の特性をのぼす。 ・地域住民から信頼される支所運営を目指し、支所機能の強化をはかるために、権限と予算の再構築を行います。
種別				款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	丹生川支所 地域振興課			項	1	総務管理費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業				
内線	3112			目	9	企画費		D	その他事業				
								H25計画額	8,000	千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	丹生川地域住民	どうしたいのか (意図)	安全、安心、快適な住環境づくり、地域活性化に資するために、地域住民からの要望に即応するため	概要	事業の実施 手法(手段)	市道、農道、水路等の公共施設の軽微な補修要望などに迅速に対応する
	対象者数	4,629 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	緊急に対応すべき事業や町内要望に対応して、道路修繕など12事業を実施							
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	成果 指標	実施件数	件	目標値	10	10	10	10
				実績値	13	12		
	算出根拠等			達成率(%)	130	120		
	成果 指標			目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
	成果 指標			目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
	成果 指標			目標値				
				実績値				
算出根拠等			達成率(%)					
成果 指標			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	改良工事を含めた視点での対応が望まれる
---------------------	---------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	地域審議会、連合町内会を早期に開催し地域要望の早期把握に努めている。今後も要望に対し迅速に対応する。	
次年度 の実施 方針	○維持・改善	平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査しながら27年度以降の対応について検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	7,318	11,597	10,200	11,625
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,567	2,498	2,203	2,511
	受益者	地域住民	(B)	4,670	4,643	4,629

5 予算編成(Action2)

事業内容	・公共施設等の軽微な修繕	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支所	地域 政策 課	地域 政策 課
------	--------------	-------------	-----------------	----	---------------	---------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	10,200	11,625	1,425	9,900	9,900	・配分額の調整	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	10,200	11,625	1,425	9,900	9,900		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	種別	土地借上料	予算	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長 公約
				款			○ B 一般予算の上乗せとして実施されている事業		
担当課	内線	丹生川支所 地域振興課	3112	項			C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	6,217 千円
				目			D その他事業		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)		どうしたいのか(意図)	施設用地借上	概要	事業の実施手法(手段)	市の基準単価を上回る土地賃貸借
	対象者数						

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動指標	施設用地	算出根拠等	㎡	目標値	1,054,873	1,054,873	1,054,544	1,054,535
				実績値	1,054,873	1,054,873		
成果指標	基準超過施設件数	算出根拠等	件	達成率(%)	100	100		
				目標値	6	6	4	4
成果指標	基準超過割合	算出根拠等	%	実績値	6	6		
				達成率(%)	100	100		
成果指標	算出根拠等	基準到達件数累計/基準超過件数		目標値	6	6	6	4
				実績値	0	0		
補足	算出根拠等			達成率(%)	0	0		
				目標値				
補足	算出根拠等			実績値				
				達成率(%)				
補足	算出根拠等			目標値				
				実績値				
補足	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
補足	算出根拠等			実績値				
				達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	市の基準に近づくよう継続的な単価交渉を行っているが、地域の理解を得つつ慎重に交渉する必要がある
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	市の基準に近づくよう単価交渉を進めていくとともに、事業経費と受益者負担金との不均衡の改善として、使用料金見直しの検討や、今後の施設の在り方を検討する。											
次年度の 実施方針	<table border="1"> <tr> <td>維持・改善</td> <td rowspan="4">市の基準に近づくよう単価交渉を継続する。</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>○ 縮小</td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>維持・改善</td> <td rowspan="2">(担当課評価に同じ)</td> </tr> <tr> <td>○ 縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> </tr> </table>	維持・改善	市の基準に近づくよう単価交渉を継続する。	拡大	○ 縮小	廃止検討	二次評価	維持・改善	(担当課評価に同じ)	○ 縮小		廃止検討
維持・改善	市の基準に近づくよう単価交渉を継続する。											
拡大												
○ 縮小												
廃止検討												
二次評価	維持・改善	(担当課評価に同じ)										
○ 縮小												
	廃止検討											

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
歳出(千円)	(A)	13,011	11,479	9,661	6,922
受益者1件当たり(円)	(A/B)				
受益者	(B)				

5 予算編成(Action2)

事業内容	・土地借上料	要求のポイント	事業実施の課題	支所	・市の基準に近づくよう単価の交渉が必要	複数課	・施設の継続運営のため、市基準での土地借上料に近づくよう単価交渉を継続する必要がある。
						地域政策課	・地域振興特別予算措置期間に基準内の借地料となるよう交渉が必要である。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		9,661	6,922	△ 2,739	6,922	6,922	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	9,661	6,922	△ 2,739	6,922	6,922		